

R01-306 洪水予報と艇庫の防災対応

Flood Prediction and Protection of Boat houses

乗艇の安全および漕艇施設の防災のために、水域の洪水予報の種類と水位について確認し、非常時の対応を考えて、防災体制を整えておこう。

1 洪水予報には2種類ある

洪水予報には、気象庁単独で、対象地域内で、河川を特定せずに発表する洪水注意報/警報と、気象庁と国土交通省/都道府県の機関が共同して特定の河川について発表する「指定河川洪水予報」とがある。

このうち、指定河川洪水予報は、具体的な水位・流量を示して洪水を予報するもので、指定河川としては、国が管理する全国109の水系のすべて(2つ以上の都府県に渡る流域面積が大きく、洪水で大きな損害が生ずるおそれのある河川)と、それ以外で、洪水で相当の被害が発生するおそれのある河川とが、対象となる。

前者は国と気象庁、後者は都道府県と気象庁が、共同する。

2 指定河川洪水予報の従来の問題

指定河川洪水予報は従来、発表される防災情報と水位の関係が河川によって異なる、発表情報ととるべき避難行動の対応が不明確、水位の名称と危険度やとるべき行動の関係が判りづらい、といった問題があった。



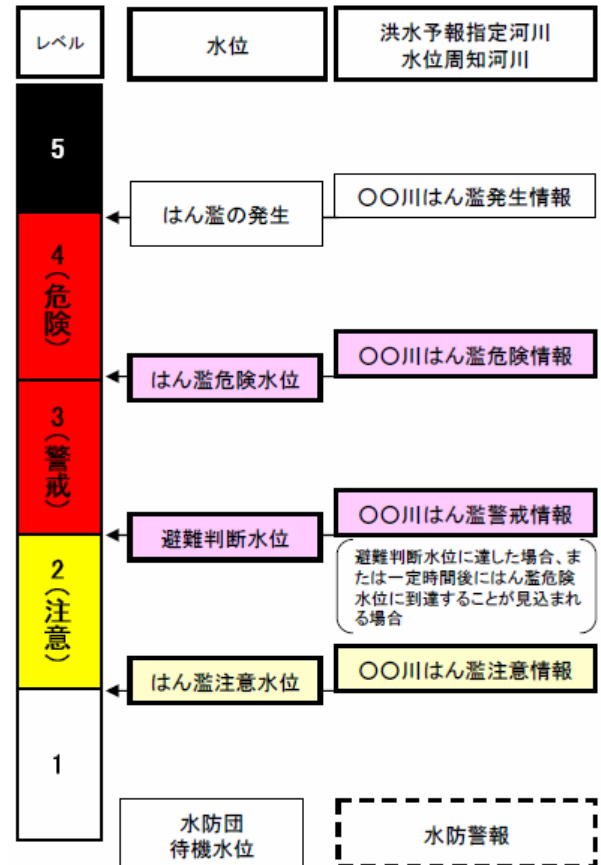
図1 洪水に関する従来の防災情報体系(気象庁発表資料より)

3 指定河川洪水予報の改訂(2007年4月)

そこで、洪水に関する防災情報体系が見直され、平成19年4月19日から、国土交通省所管の109の河川について、改訂版が運用開始されることとなった。

最も重要な改訂点は、自治体・住民の(避難)行動との関係が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称が5段階に整理されたことである。

レベル5	はん濫発生情報	状態:はん濫発生
レベル4	はん濫危険情報	水位名称:はん濫危険水位
レベル3	はん濫警戒情報	水位名称:避難判断水位
レベル2	はん濫注意情報	水位名称:はん濫注意水位
レベル1 (発表しない)		水位名称:水防団待機水位



改訂された新しい防災情報体系(気象庁発表資料より)

その他、詳細は、気象庁のホームページ等で入手できる。また、機関の問合せ先は、国土交通省・河川局・治水課、気象庁・予報部・業務課などである。

補足: 都道府県との共同による指定河川洪水予報

都道府県と気象庁が発表する洪水予報も、順次改善されるが、都道府県により対応が異なる; H19年度から改善 / H19年度は標題変更のみ / H20年度以降に実施など。

4 オアズマンの防災対策

漕艇水域が、「指定河川」に該当しているか確認しよう。

該当する場合、整理された水位(氾濫注意水位~氾濫危険水位)がどのレベルか、具体的に把握しておこう。

危険レベルに応じた、艇庫の防災体制を構築しておこう。